



# 高洲の和

## 浦安市社会福祉協議会 南3支部



新春対談

【南3支部設立5周年&広報誌第10号発行記念企画】

浦安市社会福祉協議会事務局長 齊藤 正伸 氏

南3支部支部長 福田 雅美 さん

あけまして  
おめでとうございます  
今年もどうぞ  
よろしくお願いします



### 教えて！事務局長 「社協のこと」「推進委員のこと」



私たち、推進委員は社協（社会福祉協議会）の活動を理解しているけれど、いざ誰かに伝えようと思うと「えーと??？」うーん、ムズカシイ。

社協や推進委員についてもっと多くの人に知ってもらいたい。参加してほしい。そんな思いをもって南3支部広報編集委員は、このたび、浦安市社会福祉協議会・齊藤事務局長にインタビューを決行。現場に長く携わってきた方ならではの話をうかがいました。聞き手は支部長・福田 雅美さんです。



福田 「社会福祉協議会について教えてください」

福田 「楽しんで参加できる事業が、人と人をつなぐ橋渡しになるのですね」

事務局長(以下、局長)「社会福祉協議会(以下、社協)は、住民や団体、行政、関係機関、施設を含む福祉事業者の皆さんなどが協力し合い、住み慣れたまちでずっと安心して暮らせる地域にしていくことを目指し、さまざまな事業を行っている社会福祉法人です」



局長「その通りです。ふだんの集まりの中で、なにげなく情報交換していたことが役に立ち、必要とする機関にスムーズにつながったケースがいくつもあります」

福田 「事務局長は、われわれ南3支部の活動については、どのようなイメージをお持ちですか？」

福田 「思いあたることがあります！」

局長「南3支部はコロナ禍でも、うらちゃんさんぽやモルック(※モルックの説明は裏面「第4回うらちゃんさんぽ(10月26日)」記事参照)、VR体験など、興味を惹くような事業で参加者を集め、外出を促し、高齢者の孤立や心身機能の衰えを防ぐ支援をされています。地域活動が制限されている中でもできることに積極的に取り組み、素晴らしいと感じています」

局長「支援者として頑張るというより、ご自身も楽しんで活動してほしいと願っています。推進委員や地域のみなさんが気持ちよく協力し合えるように仕組みを整え、地域課題を解決するためのサポート体制、事業を展開しています。積極的に活用してほしいです」

福田 「ありがとうございます。今後も楽しい事業をどんどん企画していきます。推進委員に対して期待することはありますか？」



福田 「わかりました。そう言っていただけると心強いです。最後に新年らしい質問を。子どもの頃、お正月はどのように過ごされましたか」

局長「生まれ育った船橋のあたりは私が子どもだった昭和40年代は自然が豊かで、田畑や原っぱでたこあげして遊んだのを覚えています」



局長「負担のない形で地域を見守っていただければと思っています。困っている高齢の方や障がいのある方などを見かけたら気にかけていただきたい。ちょっとした会話から、必要なサポートへつなげてもらえればと思います」

福田 「お雑煮は？」


局長 「具材は鶏肉、小松菜、なると。お醤油味でした」



福田 「推進委員が“私が解決しなければ”と気負う必要はないのですね」

福田 「関東雑煮のスタンダード！ 食べものの話って盛り上がるから会話の糸口になりそうですね。本日はありがとうございました」

局長「プライバシーにあまり踏み込みすぎる必要はありません。各地域の推進委員の方々の役割は、多くの人やゆるやかな連携をもてるように出会いを広げ、つなげていくことだと思います」



うらやす社協こぼれ話「うらちゃん」とは…  
うらやす社協のマスコットキャラクター。どこかに「う」と「ら」が隠れている。向かって左がうーちゃん、右がらーちゃん。虎視眈々と浦安ゆるキャラ総選挙1位の座を狙っている…



浦安市社会福祉協議会南3支部のサロン活動について紹介します。



シニアウエルネスサロン特別企画！！

# ウルフ・アロン選手講演会



10月23日(土)今年度第4回目のシニアウエルネスサロンが開催されました。特別企画として、東京オリンピック柔道男子100kg級で、同階級21年ぶりの日本人金メダリストとなったウルフ・アロン選手の講演を、オンラインにてリアルタイムで配信しました。同企画にはシニアウエルネスサロン参加者のほか、了徳寺大学柔道クラブの子どもたちや保護者等多くの方々に参加し、ウルフ・アロン選手の強さの秘訣や、東京オリンピックの舞台裏など、貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。質問タイムでは、チャット機能を利用して、大人からも子どもからも、質問がたくさん飛び交いました。「次の目標はなんですか?」「休みの日の過ごし方は?」など、なんでも答えてくれる優しいウルフ選手に、今回の講演を通して、ファンになったという声も多く聞かれました。ウルフ選手のサービス精神と巧みな話術によって、笑いあり涙ありのあっという間の充実の時間となりました。ウルフ選手ありがとうございました。

## 第3回「うらちゃんさんぽ」(6月22日)

梅雨の季節ということで雨が心配されましたが、時折、雲の切れ目から漏れる日射しに暑ささえ感じられるほどの晴天に。高洲中央公園を出て高洲公民館(エスレ)内にある千葉県警の移動交番に寄り、特殊詐欺被害や移動交番の任務等の説明を受けました。

その後、総合公園まで境川沿いを散策しながら、海沿いにあるパーゴラの下で、浦安市認定の街頭パフォーマー「かみしばいさん」による紙芝居を楽しみ、懐かしの童謡「かえるのうた」などを輪唱しました。

## 第4回「うらちゃんさんぽ」(10月26日)

雨上がりの晴天の中、黄色や赤に彩られた公園の木々に囲まれ、済んだ空気の中を散歩後、明海の丘公園の芝生の上でモルックというスポーツを行いました。

モルックはフィンランド発祥のスポーツで、チーム制で競い合い、先に50点ぴったり得点をとったチームが勝ちとなります。各チームで交互にモルックと呼ばれる木の棒を投げて、ボーリングのように立てられた、①~⑩までの数字がそれぞれに書かれたスキttlと呼ばれる12本の木の棒を倒していきます。1本だけ倒したらスキttlに書かれたその数字が加算され、2本以上倒したら、その「本数」が得点として加算されます。倒したスキttlは、倒れたその場所でもう一度立てられ、いつも12本の棒が立っている状態でモルックを投げます。50点を1点でも超えてしまうと、そのチームは25点まで減点してやり直しとなります。また、同チームが3回連続で0点だと、相手チームの得点に関わらずそのチームは失格負けとなります。

皆さん、初めて体験する「モルック」に大盛り上がり様子でした。脳トレにもなるため、得点加算は暗算で、自分のチームの得点を記憶しながらゲームを進めます。途中、自分の得点が何点かわからなくなって、「32点だったような気がするから32点でいいよ」なんて言葉もご愛嬌。適度な運動と脳トレで充実のモルックタイムを過ごしました。

毎月1回開催の屋外型サロンです  
**うらちゃんさんぽ**



## 冬のお楽しみサロン【VR 及びユニバーサルスポーツ体験】

【共催】NPO法人千楽chi-raku 浦安市発達障がい者等地域活動支援センターMitte  
令和3年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



12月21日(火)エスレ高洲にて、2年ぶりの冬のサロンが開催されました。従来、冬のサロンは美味しい鍋をつつきながら交流を深める形でしたが、コロナ禍のため、今年は趣向を変えて実施しました。

NPO法人千楽chi-rakuさんと、東京大学先端科学技術研究センター・登嶋先生のご協力のもと、VRによる仮想旅行体験を実施しました。はじめての仮想空間に皆さんテンションが上がりきり!!大きな歓声とともに、目の前に広がる遠方の地での旅行体験を存分に楽しんでいました。

そのほか、ポッチャやモルックといった、高齢者や子ども、障がいのある方も一緒に楽しめるユニバーサルスポーツ体験も行いました。どちらのスポーツもチーム対抗戦のため、自分のチームの応援に皆さん熱が入り、勝ち負けに一喜一憂しながら、初めての体験を満喫しました。最後、はーとBeatさんのお弁当と、障がい者福祉センターきらりあさんによる手作りキャンドルのお土産を手に、皆さん満足気に帰路につきました。



## 高洲を拠点に活躍する「NTTコミュニケーションズラグビーチーム」との交流事業 シャイニングアークス東京ベイ浦安×うらちゃんさんぽ

11月29日(月)うらちゃんさんぽ特別企画として、高洲を拠点に活躍するラグビーチーム「シャイニングアークス東京ベイ浦安」と交流を行いました。高洲中央公園から、チームの練習場であるアークス浦安パークを目指して歩きました。選手会長の喜連航平(きれこうへい)さんとスタッフの磯田金吾(いそだきんご)さんに出迎えてもらい、モルックをともに楽しみました。喜連選手によるミニラグビー講座も。その後は、皆さんラグビーボールを蹴ったり、選手と写真を撮ったりと思い思いの時間を楽しみました。



◆◆ お問い合わせ ◆◆

浦安市社会福祉協議会  
南3支部(担当:田中)

☎047-355-5271

浦安市社会福祉協議会ホームページはこちらの二次元コードからご覧ください。

